

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18 35 36 37 47	職員が利用者と一緒にゆっくり過ごす時間がない。利用者のできることが実践できていない。日々の様子やケアの実践・結果・気付き等、職員間の申し送りが十分でなく共有できていない。	利用者のできることを職員と一緒にしながら、コミュニケーションをとる。	ケアプランに沿った、具体的な活動を職員の共通認識のもとに実践し、経過、結果について分かりやすく記録する。	12ヶ月
2	6 13 30 33	言葉での拘束があるように思う。医療的な知識を得、利用者の身体的・精神的変化に速やかに対応できる様になりたい。急変時や事故発生時の対応に不安がある。	正しい知識を得て、利用者の体調や気分の変化にも落ち着いて対応できるようになる。	介護理念の確認、虐待について、急変時や事故発生時の対応、認知症の対応について研修を行う。	9ヶ月
3	19 23 26	利用者や家族の意向が職員間で十分に共有できていない。自立支援に向けての計画が不十分。	利用者すべてについて、自立支援に向けての計画を利用者・家族・職員の共通認識のもとに作成する。	利用者、家族の意向の再確認。職員からの自立支援に向けた情報の提供。サービス担当者会議の開催。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。